

薬学的管理項目（チェックリスト）データベースの構築

○酒井幸、阿部純子、雨宮理、石川真代、大野逸子、米谷典、柴田里枝子

宮村信輝、杉平直子

メディカルデータベース株式会社

【目的】薬剤師に期待される薬学的知見に基づく業務内容は年々拡大している。医薬品使用にあたり、必要な時期に必要な指導・情報提供等を行えるよう、多岐に渡る薬学的管理項目（チェックリスト）を時系列的に簡潔に表示するためのデータベースの構築を試みた。

【方法】薬学的管理項目（チェックリスト）について、それらの確認が必要とされる時期の情報と組み合わせたデータベースを構築した。

医薬品使用前のチェックリスト：合併症・生理状態(A)、薬物相互作用(B)、用法・用量(C)、使用前に実施すべき検査(D)、使用方法(E)

医薬品使用中・後のチェックリスト：副作用モニタリング(F)、実施すべき検査 (G)

【結果・考察】チェックリスト(A)~(C)、(G)は既開発のデータベースと連携し必要時に内容表示できるようにした。(D)(E)は医療用医薬品添付文書の記載をデータ化し、(F)については種々の有害事象データベースや書籍などを参考に副作用好発時期や発現パターンなどを考慮し表示できるようデータ化した。今後の展開として、病院、薬局、在宅などデータベースが使用される環境によってチェックリストの内容や優先順位を変更できるような付加情報を付与したいと考えている。また、かかりつけ薬剤師やセルフメディケーションに関連したチェックリストなど、薬剤師業務の変化によってデータベースの内容を随時充実させていく必要があると考えている。